

# 自動洗浄化 五カ年計画始まる!

大阪市教育委員会

あ らゆる個人、法人がエ  
コロジーの名のもと、  
節約に励む今日、それ  
は地方自治体も例外ではない。  
大阪府は平成20年度から5カ  
年計画で市立小中学校460校  
のうち、トイレの劣化の著しい  
約130校の改修計画をスター  
トさせた。これは洋式便器化を  
主目的にした改修だが、同時に  
小便器の洗浄システムの改修も  
並行して行っている。教育委員  
会がこの計画を担当する保全整  
備担当の駒田係長と中林係長の  
おふたりはその狙いとして「臭



1. 手を差し出すとセンサーが反応する自動水栓は止め忘れも防げる上、少ない水量で手が洗える工夫もされており、節水に大きく貢献する。
2. 人が立つと前洗浄を行い、離れると後洗浄を行う自動洗浄小便器。学校では連続使用が想定されるので、大阪市では後洗浄のみに設定。

莫大な水道光熱費は学校数が多い大都市ならではの悩み。中林係長（左）と駒田係長（右）はランニングコストの重要性を訴える。



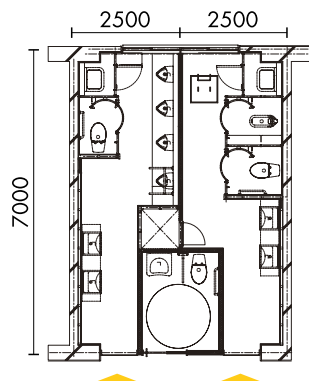
# 狭いスペースでも 洋式化を実現。

埼玉県杉戸町立 杉戸中学校

既 存のトイレを改装し、  
和式便器から洋式便器  
に変更する場合、設計  
担当者をはじめ悩ませるのが  
「スペース」の問題。通常、ト  
イレのドアは内開きだが、和式  
便器の場合は便器の上を通過さ  
せることができる。だが、そう  
いったサイズのブースで洋式便  
器に交換すると、ドアが便器に  
あたってしまうことがある。  
このありがちな課題をR型と  
よばれるドアの採用で解消した  
のが埼玉県の杉戸町立杉戸中  
学校だ。文字どおり曲面のドアが



1. トイレドアが開いた状態でも、ブース内でドアが邪魔をせず、出入りがスムーズ。
2. 3. トイレ内のカラーコーディネートは2年生から選ばれた「トイレ見直し隊」が担当。ビビットなカラーのトイレブースを採用したことで、原色を多用した楽しいトイレ空間ができあがった。



円周上をスライドするため、ド  
アを開いた後もブース内の空間  
は広々していて、人の出入りも  
非常にラクだという。  
また、カラーバリエーション  
が豊富なこのブースを採用した  
ことで、生徒がカラーコーデ  
ィネットに参加。学校トイレには  
あまり見られない、若々しい空  
間を作り上げることに成功した。